

LOBO 調査

早期景気観測

12月 日商調査日 12月6日～18日
当所調査日 12月6日～19日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、商工振興員の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査

12月の全産業DI ▲29・4

(前月比 ▲2・6ポイント悪化)

○中小企業の景況感

消費者の節約志向の高まりや、世界経済の先行き不透明感、深刻な人手不足、人件費の上昇が引き続き中小企業のマインドを下押ししており、業況改善の動きは依然として力強さを欠いている。

また、消費税率引き上げの影響や、受注機会の損失、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れなどにより、中小企業の業況感は慎重な姿勢が続く。

○プラス要因

都市部の再開発を中心とする民間工事は底堅く推移。

消費税率引き上げに伴う、駆け込み需要反動減の影響が落ち着き始めた。

○マイナス要因

消費税率引き上げ後から受注の減少も見られる建設業や、米中貿易摩擦、中国経済減速の影響が長引き、工作機械や産業用機械、自動車関連を中心に不振が続く製造業が全体を押し下げた。

○先行き

先行き見通しDIが ▲27・8 (前月

比+1・6ポイント) 好転。

○期待感
年末年始の商戦を契機とする個人消費の拡大やインバウンドを含めた観光需要拡大への期待感がうかがえる。

【関東ブロックの業況についてのコメント】

県の公共工事予算が秋の台風による被災地域の復旧に振り分けられ、当地域での公共工事の発注量は減っているため、売上の確保が難しい。しかし、人手不足が深刻化する中、技術者確保のためには冬の賞与を減らすわけにはいかず、昨年並みの支給を考えている(一般工事業)。

原材料費の高騰で製造原価が上昇しており、業績が悪化する恐れがあるため、賃上げについては今後の状況を見て判断する(水産食料品製造業)。

消費税率引き上げの影響は徐々に落ち着きを見せており、前回の消費税率引き上げ時のような深刻な落ち込みや影響の長期化は無いと見込んでいます。食料品を中心としたフロアの改装を行ったことも好材料となっており、クリスマスや年末・初売り商戦を見据えて、さらなる売上増を図りたい(百貨店)。

当所調査

当所調査=全体平均DIはやや悪化

全体平均DIは ▲16・7ポイントで、前月に比べ ▲2・6ポイントの悪化。

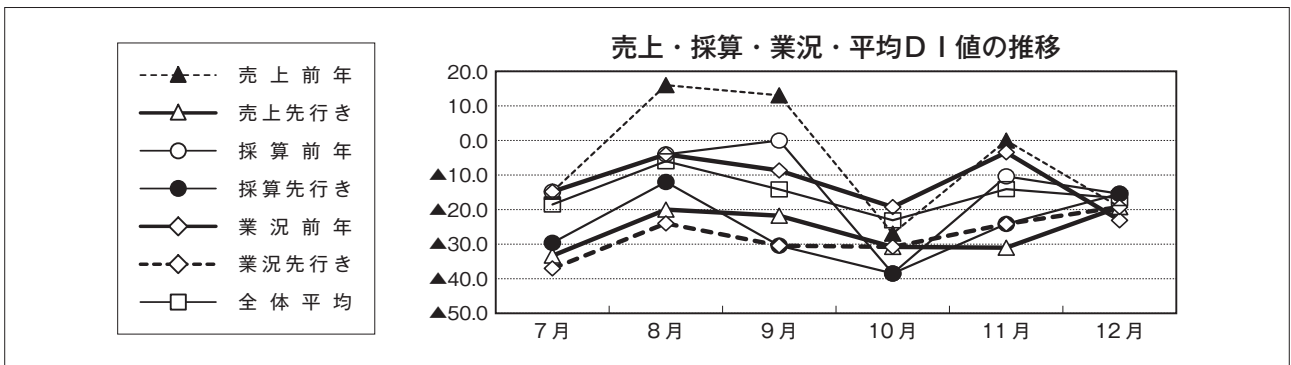
項目別では、前月と比較し売上先行きが+11・8ポイント、採算先行きが+8・7ポイント好転したものの、仕入先行きが ▲14・4ポイント、社員先行きが ▲13・0ポイント悪化した。寄せられたコメントには「増税前の駆け込み需要はなく、静かに不況感が押し寄せているのを感じる」(楽器小売業) という声が聞かれた。

(全産業)

水戸商工会議所商工振興員LOBO調査(DI値推移)

(サンプル数40社)

項目	平成30年		令和元年				
	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上前年	7.1	▲14.8	16.0	13.0	▲26.9	0.0	▲19.2
売上先行き	▲14.3	▲33.3	▲20.0	▲21.7	▲30.8	▲31.0	▲19.2
採算前年	3.6	▲14.8	▲4.0	0.0	▲38.5	▲10.3	▲15.4
採算先行き	▲14.3	▲29.6	▲12.0	▲30.4	▲38.5	▲24.1	▲15.4
仕入前年	▲32.1	▲37.0	▲28.0	▲52.2	▲42.3	▲48.3	▲34.6
仕入先行き	▲35.7	▲40.7	▲28.0	▲56.5	▲42.3	▲24.1	▲38.5
社員前年	21.4	14.8	32.0	30.4	19.2	17.2	7.7
社員先行き	25.0	14.8	20.0	26.1	19.2	20.7	7.7
業況前年	7.1	▲14.8	▲4.0	▲8.7	▲19.2	▲3.4	▲23.1
業況先行き	▲10.7	▲37.0	▲24.0	▲30.4	▲30.8	▲24.1	▲19.2
資金前年	0.0	▲11.1	▲4.0	▲13.0	▲19.2	▲17.2	▲19.2
資金先行き	▲14.3	▲18.5	▲16.0	▲26.1	▲26.9	▲24.1	▲11.5
全体平均	▲4.8	▲18.5	▲6.0	▲14.1	▲23.1	▲14.1	▲16.7



*DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答数 - 減少・悪化などの回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味するもの。